

写真でLCIFの活動を残し、広める

## 文章より 1枚の写真

InstagramをはじめとするSNSの隆盛は、写真の力によるものが大きいことをご存じのとおりです。

LCIFでは、世界中のライオンズの活動をシェアすることでその体験（ストーリー）を広め、次の活動につなげるというキャンペーンSTORIES OF PRIDE\*を実施中ですが、その理由は、各クラブや地区、国内のアイデアのみならず広く経験値を集めることで、次の人道的支援のヒントを得られるからです。

日本国内において毎年200件近く申請が受理され実施している交付金事業は、すべて報告書が提出され、集約されてはいますが、その内容が内外に広く認知されているかという点と少々疑問があります。

実施した事業を、ぜひ多くの人に知ってもらい次の支援へ繋げませんか。

「誰が」「何を」「いつ」「どこで」「どのように」を使って写真にストーリーを語らせることが大事です。

例えば…

誰が？地域のライオンズ、レオ、受益者です。

何を？奉仕事業に参加しています。

どこで？毎月の例会の場所や地域のどこかで。

STORIES OF PRIDE\* [https://lcifpride.org/?lang=ja#sop\\_share](https://lcifpride.org/?lang=ja#sop_share)



Lions Clubs International  
**FOUNDATION**





写真でLCIFの活動を残し、広める

# ビジュアルは大事①



交付金事業報告書に必須の写真。ぜひこんな画像もプラスしてください。

ストーリーを語り、人々の喜怒哀楽を映し、優しく親しみやすい前向きな心を感じさせる写真が理想的です。ライオンズが受益者、レオ、仲間たちと過ごしている瞬間をとらえましょう。グループの写真を取る時には、全員にポーズをとらせたり、カメラを見つめさせたりすることは避けましょう。視覚的にストーリーを語る場合には、ありのままの様子や行動している様子をとらえた大勢の写真が効果的です。

例えば…環境保護、グリーン事業を実施した場合の活動報告ビジュアル



例えば...子ども食堂事業を実施した場合の活動報告ビジュアル





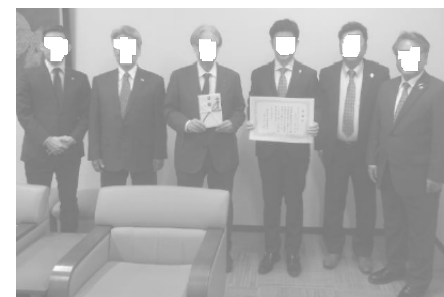
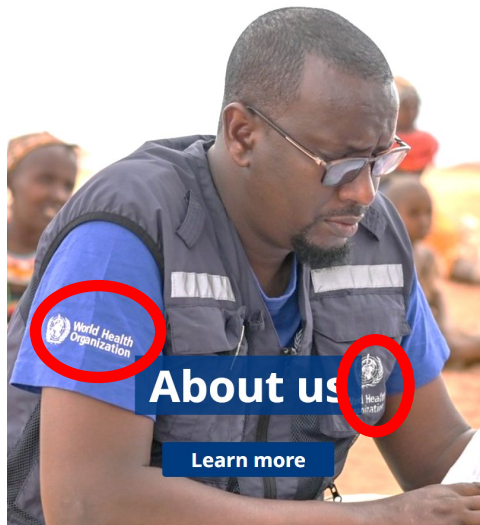
写真でLCIFの活動を残し、広める

## ビジュアルは大事②



対外的にライオンズの活動であることをアピール。ぜひライオンベスト、キャップなどのロゴマークの入ったグッズを活用してください。

例えば…LCIFのウクライナ支援、ユニセフ、ユネスコ、国境なき医師団



写真でLCIFの活動を残し、広める

# 撮影のポイント～意識編



交付金事業の実施日には、撮影を担当する専任の人員を1人確保しておきましょう。  
(ほかの作業をしながら良い写真を撮るのは難しい。)  
撮影者は被写体を動かすのではなく、自ら被写体に近づき軽やかなフットワークで。



## 1 📷 活動そのものにフォーカス

事業や活動の前後のセレモニーは、撮影しやすい分人の心を動かすものとはなりにくいです。受益者と一緒に活動しているライオンの生き生きとした状況を捉える。そのためには、積極的に動き、被写体の目線で撮影を。

## 2 📷 シーンを作る

活動を撮影する中で、プロのカメラマンのように絵になる写真を撮るのは至難の業です。そうであれば、あえて参加者に声をかけて、活動の再現を試みる。または、あらかじめ構図を決めておき、その通りに撮影してみるのがおすすめです。

## 3 📷 ライオンロゴを意識

数多あるボランティア団体や人道支援組織のなかでも、ライオンズがこの活動を支援しているということが一目でわかるビジュアルが必要です。参加者がTシャツやベストを着用して現場で汗をかいているシーンを。

## 4 📷 構図と枚数を決めておく

事前にプロジェクトの内容、タイムテーブル、人の動きを確認し、ニコパチを撮るタイミングと、活動を撮るタイミングを把握。撮影シーンの数とその構図を決めておくと目標に近づきます。



写真でLCIFの活動を残し、広める

# 撮影のポイント～技術編



撮影の技術に関しては、多くのウェブサイトとそのコツが示されているので、ここではエッセンスのみお伝えします。被写体にピントを合わせて力強い写真を！

最新のスマートフォンには高性能のカメラが備わっています。スマートフォンをお持ちの方はその機能を最大限に活かしてください。



## 1 📷 多くの枚数を。時には連写

特に子供などを被写体とする動きのある写真は、決定的で感動的な1枚を撮るのは大変です。数百回のシャッターを押す覚悟で、渾身の1枚を。スマホの連写機能を利用するという方法もあります。

## 2 📷 ヒキとヨリ。

例えば、講演会などでは会場全体と講演者のアップ両方が必要。競技会などであれば、競技全体と参加者一人一人の表情を必ずおさえると、後の資料としても有効です。

## 3 📷 遊びのカットも。

メインの行事の裏で、汗をかいている人がいます。また、人の正面だけではなく後ろ姿やに活動の物語を感じる瞬間があります。何気ない会話をしている集合体を撮影したりすることで、いい瞬間をとらえられるかもしれません。物撮りも有効です。

## 4 📷 目線を外した写真。

いわゆるニコパチ写真は、記録としても記念としても意義のあるものですが、被写体が撮影されていることを意識していない方が自然な表情を撮ることができ、またその場の雰囲気伝えるものです。

写真でLCIFの活動を残し、広める

# 撮影のポイント～事務手続編

撮影の際に気を付けなければいけないのは、被写体の方々と会場の撮影許諾です。個人情報保護法遵守、またプライバシー・肖像権保護の観点から、被写体の方々の意向は必ず事前に確認し、署名は一定期間保管してください。

## 個人の撮影許諾

交付金事業を実施し、その様子を撮影する前に、参加者の撮影許諾を得ておいてください。被写体が未成年者の場合は、保護者の署名が必要です。例えば大会開催などの場合は、参加申し込みと共に配布/回収するのが良さそうです。

## 会場の撮影許諾

交付金事業を申請する際、見積を依頼するタイミングで会場の撮影許諾条件を確認し、許諾をとっておいてください。

## 当日のアナウンス

開会式のあるイベントであればその際に、またそのようなイベントでなくても受益者（参加者）が一堂に会している場で、カメラマンの存在と、ご協力をお願いする。

ライオンズクラブ国際協会 宛

### 写真・映像等の撮影・掲載承諾書

私は、貴協会(ライオンズクラブ国際協会)に対し

●月●日 事業・プロジェクト名

のに行われた撮影において、私が写っている写真及び映像等を貴協会が下記の目的と方法で使用することを承諾します。

写真及び映像等は貴協会へ提供し、下記に定める範囲で使用している限り、(1)肖像権、プライバシー権、パブリシティ権等の一切の権利を行使しない事、(2)全身及び身体の一部を撮影し、撮影した作品の公表・使用・出版等一切の利用行為に同意し許可を与える事、並びに(3) 公表・使用・出版等一切の利用行為にかかる写真、動画の選択、創作、変形、合成等その作品の表現についての異議申し立てを一切行わず、著作権、著作者人格権等の権利の主張あるいは行使その他何らの請求も行わない事に、それぞれ同意します。

サンプル

記

- 1 撮影した写真及び映像等は、ライオンズクラブ国際協会(以下「当協会」といいます。)が行う日本国内外の広報活動のために使用し、これ以外の目的には使用いたしません。
- 2 写真及び映像等の使用は、当協会が行う説明会及び外部メディア(フェイスブック、インスタグラム、X等)が含まれます。
- 3 写真及び映像等の使用期間はありません。
- 4 プライバシー保護のため、写真及び映像等の使用媒体へ氏名の掲載はいたしません。

本同意書記載の内容に自ら同意する権限が有ることを保証し、以下に署名します。

記入日: 20 年 月 日

参加者氏名:

保護者氏名:

「写真・映像等の撮影・掲載承諾書」フォーマット例  
グーグルフォームなどでも



写真でLCIFの活動を残し、広める

## 心を動かす

生き生きとした子どもたち、懸命に奉仕しているライオン…

LCIF交付金事業を伝える1枚を。

STORIES OF PRIDEで共有するだけでなく、LCIFでは、その活動を切り取った魅力的な写真をウェブサイト・年次報告書をはじめとした様々な資料やプレゼンに使用するために常に必要としています。

撮影されたLCIF活動の写真は、活動報告書提出の際に添付し、オセアル調整事務局LCIF課に写しを入れてください。※報告書（テキストファイル）に貼り付けるだけでなく、画像データとして添付（圧縮データ）またはクラウドに上げてURLをお知らせください。

[LCIFTokyo@lionsclubs.org](mailto:LCIFTokyo@lionsclubs.org)



Lions Clubs International  
FOUNDATION

